

畦地梅太郎

粹を集めた版画集作品展



版画集「山湖」より 大正池(1947年)

展示版画集

伊豫風景

御荘風景

二六〇〇年版 山

満州

山岳版画集 1

山湖

山の呼ぶ声

山の太陽

山-北アルプス

山男誕生

山のぬくもり

山のつぶやき

愛しの山男たち

2024年2月2日(金)～5月6日(月)

会場：畦地梅太郎記念美術館【井関邦三郎記念館併設】

開館時間：AM9:00～PM5:00(入館受付 PM4:30まで)

休館日：火曜日(祝休日の場合はその直後の平日)

入館料：大人 300円 65歳以上 200円 大・高校生 200円

中学生以下・障がい者手帳等をお持ちの方は無料

住所：愛媛県宇和島市三間町務田180-1

(「道の駅みま」併設 松山自動車道三間IC傍)

お問合せ：TEL/FAX 0895-58-1133

イベント開催

3/24 アイ・アンサンプル
弦楽四重奏
(日) ミニコンサート
当日入場無料

畦地梅太郎

粹を集めた版画集作品展



版画集「伊豫風景」より 八幡浜港(1936年)



版画集「二六〇〇年版 山」より 石鎚山頂(1940年)

畦地梅太郎(1902～1999)は、愛媛県北宇和郡二名村(現：宇和島市三間町)出身の版画家です。10代で上京後、版画技法と出会い、平塚運一や恩地孝四郎、前川千帆ら気鋭の版画家たちとの交流を通して、独自の画風を確立していきました。

初期には都会風景を手掛けますが、徐々に自然に目を向けるようになり、山や山男を主題に、「山の版画家」として親しまれ、国際的にも幅広い活動をしました。自然を慈しみ、山をこよなく愛した梅太郎の作品は、温かいぬくもりとおおらかな人柄を感じさせ、素朴さの中にも洗練された感性や感覚にあふれています。

生涯に数多くの自摺版画集を世に出しました。その中には、その時代時代の畦地版画を代表する作品が収められています。当館が収蔵する版画集の作品を通して、梅太郎の画業をたどります。



版画集「愛しの山男たち」より 鳥をいだく(1956年)



版画集「山-北アルプス」より 頂上の小屋(燕)(1967年)



版画集「山のぬくもり」より 遠い山(1977年)

畦地梅太郎記念美術館・井関邦三郎記念館

愛媛県宇和島市三間町務田180-1 「道の駅みま」併設
TEL/FAX 0895-58-1133



◆当館へのアクセス

- 〈車〉松山自動車道三間ICから(宇和IC～三間IC無料区間)……………約1分
- 〈JR〉宇和島駅から予土線乗車 務田駅下車……………徒歩約8分
- 〈バス〉宇和島自動車三間方面行 道の駅みまバス停下車…徒歩約1分

アクセスマップ



uwajima